R8第1回障がい者差別解消支援地域協議会

資料　2

令和７年度の区の主な取組みについて

取組事項			取組内容	対象者	時期等	所管課
周知・啓発	（1）区民・事業所等への意識啓発	ア　障害者差別解消法パンフレット【児童向け版】の配布	障がい当事者への理解啓発・周知を進めていくため、区内小学4年生児童に配布。	区民（児童）（62校）	令和7年8月	障害福祉課
		イ 知的障がい及び身体障がいの理解啓発に関する授業	区立小中学校を対象に、区内障がい関係者団体が主体となり行う、障がい理解学習の支援を実施。	区民（児童）（51校実施）	通年	福祉管理課
		ウ おおた区報に障がい理解に関する記事を掲載	東京2025デフリンピックの特集、障がい者週間に合わせ、おおた　みんなのつどいプロジェクト、区ホームページ「もっと！身近な障害者差別解消法」について紹介。	区民	令和7年11月11日号	障害福祉課 福祉管理課
		エ 懸垂幕の掲出	令和7年度、新たに懸垂幕を作成し、障がい者週間に併せて区役所及び各地域庁舎へ掲出。	区民	令和7年12月1日～10日	障害福祉課
		オ おおた　みんなのつどいプロジェクト	・【周知・啓発】各施設まつりや、OTAふれあいフェスタで、おおた　みんなのつどいプロジェクトののぼり旗を設置し、障がい理解啓発のパンフレット等をいれた特製バックを配布 ・【総括イベント】障がい理解を取り入れた実践的な地域活動を行った団体等への表彰、デフアスリートの伊東勇哉選手の講演会、よしもと手話ブ！と大根ちゃまによるステージイベント、「大田区聴覚障害者協会ふれあいサロン会」による手話コーラス等を開催。	区民	【周知・啓発】8月～11月【総括イベント】令和7年12月6日	障害福祉課
		カ　地域におけるＵＤ実践講座	障がい理解やユニバーサルデザインの普及啓発を目的として、障がい当事者等による講話や車いす、白杖等の体験を実施。	区民（民生委員等）（52名受講）	令和8年1月18日、2月12日、3月10日	福祉管理課

			区内の環境整備を外注するにあたり、事業所に区作成パンフレット等を配布し、合理的配慮やユニバーサルデザインについて、周知・啓発を行っている。	事業所	通年	施設整備課
		キ　障害者差別解消法及びＵＤの周知・啓発	大田区公式チャンネル（YouTube）で、改正障害者差別解消法の周知用動画を配信している。	区民・事業所	通年	障害福祉課
			ユニバーサルデザインの普及啓発を目的として作成している「おおたＵＤライフ」を区ホームページで公開。	区民	通年	福祉管理課
		ク　心のバリアフリーハンドブックの配布	区立小中学校の対象一学年（主に、障がい理解の授業を行う学年）に心のバリアフリーハンドブックを配布。	区民（児童） (85校)	通年	福祉管理課
		ケ ホームページでの分かりやすい周知啓発	障害者差別解消法という法律の周知だけでなく、具体的な内容や、障がい理解を深めるための内容を、分かりやすい表現やクイズ形式にするなど方法を工夫し、大田区公式Ｘ及びホームページで配信している。	区民	通年	障害福祉課
		コ　東京工科大学との社会連携実習	東京工科大学のデザイン学部の学生たちが、障がいへの理解促進をテーマに課題解決に取り組んだ。 令和8年1月 28日の最終報告では、学生たちがデザインしたキャラクターを使用したポスターの製作、かまた祭での追加ルールがあるボッチャなどの提案があった。令和8年度も授業外ではあるが引き続き学生たちと連携し、ポスターの製作などに励んでいる。	区民	令和7年度から	東京工科大学 障害福祉課
		サ 大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例に関する周知・啓発	日常でも使える手話を、語源も合わせてショート動画形式で紹介することで、まずは手話に興味を持ってもらえるよう、手話の紹介動画を配信している。	区民	通年	障害福祉課
			区職員向けに作成している「障がいのある人に対する情報保障のためのガイドライン」を、区民や事業者など広く活用できるようホームページに掲載。	区職員、 区民、 事業所等	通年	障害福祉課

		シ 「手話言語の国際デー」（9月23日（火・祝））の取組	大田区役所・羽田イノベーションシティ・障がい者総合サポートセンター・大田区総合体育館・大森 海苔のふるさと館にて、庁舎のブルーライトアップを実施。	区民	令和7年 9月23日	障害福祉課 障がい者 総合 ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ
			大田区役所・障がい者総合サポートセンターの入口にて大型モニターで放映を実施（映像内容は、鈴木区長メッセージ、大田区聴覚障害者協会及び十文字学園女子大学手話サークルによる手話歌、手話のショート動画）。	区民	令和7年 9月23日	障害福祉課 障がい者 総合 ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ
		ス 東京2025デフリンピックの開催に伴う取組	東京2025 デフリンピックの認知度向上及び気運上醸成、手話言語やろう者の文化の発信・理解促進などを目的としたキャラバンカー巡回セレモニーを大田区総合体育館で開催し、パネル・メダル展示、手話クリアファイル等の配布、出場選手挨拶、記念撮影等を行った。	区民	令和7年 11月10日	ｽﾎﾟｰﾂ 推進課 障害福祉課
			ユニークおおた令和8年2月放送分へ障害福祉課職員が出演し、共生社会の啓発を行った。現在は、大田区公式YouTubeチャンネルにて視聴可能。		令和8年 2月1日～28日	

取組事項			取組内容	対象者	時期等	所管課
	(2) 区職員への意識啓発	ア 福祉理解スキルアップ講座	障がい当事者等を講師として招き、対応で配慮してほしい事項や障害者差別解消法の正しい知識の習得、適切な対応につなげることを目的に実施。	区職員（63名受講）	令和7年 10月29日	障害福祉課 福祉管理課
		イ 採用2年目研修	ユニバーサルデザインのまちづくりや、重層的支援体制整備事業について、障がい当事者の講話をとおして、ともに生きる社会の実現に向けて、区民にとって最も身近な公務員としての役割を再認識させることを目的に実施。	区職員（187名受講）	令和7年 10月2日	福祉管理課 人事課

法や条例の実行性の確保に向けた取組	(3)相談体制の整備	ア 障がい者差別相談窓口の設置	障がいを理由とする差別などに関する相談に応じるため、障がい者総合サポートセンターや各地域福祉課、障害福祉課に相談窓口を設け対応している。	区民	通年	障害福祉課 地域福祉課 障がい者総合サポートセンター
		イ 手話通訳者の配置	障害福祉課窓口に手話通訳者を配置している。	区民	毎週月曜日	障害福祉課
		ウ タブレット端末を利用した手話通訳の対応	聴覚障がい者等が来庁された際、障害福祉課、各地域福祉課に設置されているタブレット端末を通じて、障がい者総合サポートセンターに常駐する通訳者が通訳をする。	区民	通年	障害福祉課 地域福祉課 障がい者総合サポートセンター
		エ 手話リンク	一般財団法人日本財団電話リレーサービスが提供する、公共インフラである電話リレーサービスを使用して、ウェブサイトから直接、手話で問合せができる「手話リンク」を区として導入。 区ホームページの下部にある「手話で電話」のアイコンをクリックすると、代表電話を通じて、本庁舎内の担当部局につながる。 令和8年6月から対象拠点を拡充し、各地域庁舎、障がい者総合サポートセンターでも利用開始した。	区民	令和8年2月～	障害福祉課 地域福祉課 障がい者総合サポートセンター
		オ 筆談・コミュニケーション支援ボード、耳マークの設置	意思疎通を図る手段として全部署に設置している。	区民	通年	全部署